



【校訓】
自主
根性
協同

R5.2.8 発行
文責 光山

3学期！目標を叶える学期に！！

～3年生の進路選択～

三学期の始業式に、「目標をかなえる学期にしてほしい」「自分の凡事徹底を決めて実行してほしい」という話をしました。三年生は、高校に合格するためだけの勉強だけでなく、高校以降の生活を充実させるための勉強を頑張る力を付けてほしい。二年生は、一年後、二年後の受験、その後の高校に役立つためにも、今、目標を立てて努力してほしい、そのためにも、自分で決めた凡事を徹底することが大切であるという話をしました。

始業式から約一ヶ月たった二月一日に全校集会を行いました。久しぶりに全校生徒が体育館に集まった集会となりました。多少の寒さは感じましたが、当日は、冷え込みは厳しくなく、逆に生徒の醸し出す緊張感、凛とした雰囲気、心を揺さぶられました。思わず、準備してきた原稿は下に置き、生徒たちの顔を見ながら、今年度繰り返し話してきた「凡事徹底」と「佐中プライド」について話すことにしました。凡事を徹底し続けるには、それを実行するための強い「心」が必要である、その強い「心」を持つことは自分の佐中プライドを高めることにつながるという内容です。一人一人の真剣に耳を傾ける生徒の姿に成長を感じ、今の佐中生はしっかりと自分事として話を受け止めることができると確信を持つに至りました。だからこそ、自分なりの凡事徹底に挑戦してほしいと思います。三年生にとっては、毎日の受験勉強を徹底することにも通じると思います。一人一人の踏ん張り、期待です。その三年生の進路の状況です。現在、私立専願、国立推薦、そして、公立前期が終わり、続々と進路が定まってきたところ、現在、公立後期を受検する生徒の出願が終わり、進路が決まった生徒と受検を控えている生徒、それに三年部を中心として教職員が一丸となって、全員の進路決定できるように努力しています。三年生全員が十五の春を笑顔で迎えられるために！

【お知らせ】

令和二年の豪雨災害の復旧工事として、井上医院裏の佐敷川沿いの道路工事が始まりました。佐敷中の通学路でもありましたので、しばらくは、本町通りを通ることになりました。通学路の変更については、花東から通学する佐敷小学校の児童にとっても同様となります。特に、登校の時間帯は、自転車と児童の登校が同じ側を通ることになり、車の通行量が多いことと相まって、安全面には特段の注意が必要です。関係の区長さんや民生委員の方にも情報提供はしていますが、学校としても登下校の見守りに努めていきたいと思っております。

生徒会目標：「上昇」から令和5年は「昇華」へ

三学期は、次年度の0学期と呼ぶことが多くあります。その年度のまとめであり、次年度の準備の学期という意味で使われます。本校でも新生徒会の執行部、委員長が決定しました。冬休みには生徒会リーダー研修会を実施し、佐敷中の学校教育目標や生徒心得、教育計画など詳しく学ぶ機会を持ちました。それらを踏まえて、令和5年度の生徒会目標や委員会活動計画案を作成してくれました。そして、今日、二月七日に生徒総会を開催し、新生徒会執行部から議事として五項目提案され、全校生徒の承認を受けることができました。提案された議事は次の通りです。

- 一 生徒会年間目標について
- 二 生徒会メデイアルールについて
- 三 生徒会規約について
- 四 生徒会役員選挙規定について
- 五 各委員会年間活動計画について

今回はリモートでの開催となりましたが、前回同様、緊張感漂う雰囲気の中で、真剣な議論が行われ、三年生を中心に、積極的かつ建設的な意見が出され、充実した総会となりました。



リモートで参加



生徒会執行部・委員長

令和五年の生徒会目標の【昇華】には、「自分の中の課題を改善し、更に高度な自分に成長・進化してほしい、そして、一人一人が生徒会メンバーとして高め合える佐敷中学校を目指していきたい。」という思いが込められています。各委員長提案の年間計画も佐敷中の成長・進化を目指したものでばかりでした。また、芦北町復興応援プロジェクトの取組についても執行部から説明がありました。

今年の生徒会活動も昨年以上の取組ができると信じています。そのためにも、講評で話しましたが、計画が「絵に描いた餅」にならないように、生徒一人一人が相互に関わり合い、高め合う生徒会活動が展開されることを楽しみにしています。

【あとかき】
佐敷中「校歌」の2番目に「藍川のいやつきぎに受け継がれし祖先(みおや)の薫(いさお)・・・」とあります。この藍川がどこなのか、私自身、良くわかっていませんでした。佐敷中学校の校歌にも「藍川」という言葉が出てきます。

ある日、私の謎が一気に解決することになりました。私の日課の一つに相逢橋での交通指導があります。その帰り道にある橋の欄干を何気なくみると「藍川橋」と表記してあったのです。なるほど、佐敷川は藍川とも呼ばれていたということですね。

芦北町の資料を読んでいると、その他にも七瀬川という呼び方もあることが分かりました。佐敷川と呼ばば芦北町にある川だと思います。藍川や七瀬川という響きは、佐敷川とは違った印象があります。郷愁を感じさせてくれます。佐敷中学校から下流に向かって最初に橋が七瀬橋、その次の歩行者専用の橋が藍川橋です。見慣れた山や川などであっても、視点を変えただけで、その趣が変化し、新たな魅力を感じさせてくれる気がします。(光)